

富山県看護連盟・支部研修会報告（平成 26年 7月分）

区 分	内 容
会の名称	富山県看護連盟（黒部・魚津）支部研修会
研修の目的 ねらい	看護連盟の理解を深める
開 催 日	平成26年7月5日（土） 10:00 ～ 11:30
会 場	黒部市国際文化センター コラーレ
主 催	富山県看護連盟（黒部・魚津）支部
（共 催）	
対 象 者	富山県看護連盟会員（黒部・魚津地区）
出席者数	支部会員29名
研修方法	講演 グループワーク 意見交換 実技 提言 解説・説明 DVD視聴
内 容	1) 「看護連盟の現状と課題」 講師：中陣支部長 2) DVD「ベツトサイドから政治を変える！」 3) グループワーク「現場の声をお聞かせください」
特記事項	

提出日 平成26年7月10日

提出者 富山労災病院 三浦唱子

資料添付 ☒ 有 無

平成 26 年度 富山県看護連盟 黒部・魚津支部研修会

開催日 : 平成 26 年 7 月 5 日 (土) 10:00~11:30

会場 : 黒部市国際文化センター コラーレ

出席者数 : 29 名

内容 : 「看護連盟の現状と課題」 講師: 中陣支部長
DVD「ベットのサイドから政治を変える！」
グループワーク「現場の声をお聞かせください」

今年度 1 回目の支部研修です。

今日のグループワークはとても熱心に、時間いっぱいまで皆さん意見交換をしておられました。新川地区の病院はどれも“人員不足”に悩んでいます。看護師の疲弊だけでなく、自分のしたい看護ができないジレンマも抱えています。他の病院の看護師とたくさん情報交換ができました。



グループワーク「現場の声をお聞かせください」

(働き方、仕事環境、待遇などでこうしてほしいと思うことを教えてください)

<人員不足に関すること>

- ・人員不足で休みの希望がとれない。ストレスがたまる。
- ・看護師不足のため、仕事環境や待遇の面での悩みにつながる。
- ・病欠者がいても補充がない。

- ・診断書がでるまで体調不良でも休めない。
- ・体調不良などで人員不足になった場合、精一杯の状況で働いているので、リスクもおきやすくなる。余裕をもって働けない。対応したくてもできない。
- ・人数が少ないため、患者も看護師も安全が確保できない。
- ・人員不足のため休憩もとれない。(特に土日)
- ・準夜での休憩が取りにくい。(ケアが多く、スタッフの人数が少ないため)
- ・看護師不足なのに病床数がそのままのため仕事がハード。
- ・人員不足なりの病床数をトップが考えてくれるような配慮があつていいのでは？(ベット数を減らすなど)

<勤務、時間外業務に関すること>

- ・残業が多い。
- ・サービス残業が多い。(委員会など)
- ・業務以外の仕事(委員会など)、持ち帰りの仕事が多い。
- ・時間外に委員会や勉強会へ参加しなければならない。
- ・時間外勤務をした場合、申告しにくい。
- ・行事の休みがとりづらい。
- ・自由なところ(希望のところ)に夏季休暇(特休)がとれない。
- ・勤務表を作るときに平等に休みをつけれない。
- ・当直後の休暇の確保をしてほしい。
- ・日勤後の深夜入りは辛い。
- ・年休が取りにくい。
- ・年間で消化できない年休が多いため、買い取ってほしい。
- ・深夜入りなのに時間外研修があつたり、準夜明けでの研修や出張をやめてほしい。(勤務の考慮)自分の休みで行きたくない。代休などがほしい。
- ・夜中(24時くらい)に終わっても翌日は朝から出勤のため辛い。

<待遇に関すること>

- ・主任など役職がついても給料はかわらない。責任が増えるだけ。
- ・特別な処置(感染症患者対応、死後処置、化学療法等)をした際の待遇がほしい。
- ・臨時職員と正職員の待遇に差がある。
- ・休みがパート優先で夜勤明けなどしか休みがない。
- ・夜勤が10回/月など多くなってしまう。

＜子育て支援に関すること＞

- ・帰りが遅くなると子供に迷惑がかかる。
- ・育児休職あけの研修・教育の充実。（一日では足りない）

＜その他＞

- ・休みにチーム会や勉強会に出なくても良くなったが、集まる機会がなくなり、情報伝達できない。
- ・連絡事項がしっかり伝わらない。
- ・希望部署への配置にしてほしい。
- ・記録など事務的なことが多く、パソコンに向き合う時間が長く、患者とは向き合う時間が少ない。
- ・ルーチン業務に追われてケア（保清など）があまりできない。
- ・看護師以外でもできることは他のコメディカルに依頼してほしい。
- ・新人教育が難しい。
- ・精神疾患の看護師が増えてきている。
- ・申し送りの廃止に伴い、自分で情報収集をしなければいけないため、出勤時間が早くなる。
- ・現場の声を聞くだけではなく、国が現場を見に来てほしい。

黒部・魚津支部研修会アンケート結果（回収 25 名）

【施設】 公的病院 25 名

【職種】 看護師：24 名 助産師：1 名

【年代】 20 代：5 名 30 代：10 名 40 代：5 名 50 代：5 名

1. あなたは、看護連盟活動に関心をもっていますか。

- ①もっている・・・1 名
- ②ややもっている・・・19 名
- ③もっていない・・・5 名

2. あなたは日頃、政治に関心をもっていますか。

- ①もっている・・・0 名
- ②ややもっている・・・17 名
- ③もっていない・・・8 名

3. 今後、看護連盟に希望する研修会を教えてください。

- ・みんなの声を聞くだけでなく、一つでもいい案が聞ける研修会を希望する。
- ・仕事以外のリラックスできる内容がいい。(アロマなど)
- ・他病院との研修があれば良いと思う。

4. 本日の研修会で感じたことや、職場の悩み・要望などをお聞かせください。

- ・新川地区のどの病院も人員不足で大変な職場になっているなど感じた。他病院の意見が聞けて良かった。(50代)
- ・どこも大変な状況だと思った。昔と何も変わらない。(40代)
- ・人員がほしい。(30代)
- ・休みがほしい。(30代)
- ・抱える悩みはみんな同じだということがわかった。(30代)
- ・各々病院の悩みは似ていると感じた。(30代)
- ・みなさん同じ悩みを持っていることを知ることができて良かった。(40代)
- ・どの病院も同じ悩み・不満をもっている。それを少しでも減らしていく方法はあるのだろうか？考えていくことが仕事ではあるが、むずかしく思われる。(50代)
- ・他病院でも看護師不足であることを感じた。何とかしてほしいです。(40代)
- ・根本の人員不足について深く考えさせられた。(50代)
- ・どの病院も看護師不足や負担が大きいことがわかった。(20代)
- ・どの病院も人員不足なため十分な休憩や安全確保等が確立できていないことがわかった。(30代)
- ・やっぱりマンパワー不足が一番基にあるのだと感じた。(20代)
- ・人員不足による夜勤過多や年休の取得困難があり、常に身体は疲れている現状です。もっともっと休みがほしいです。(50代)
- ・看護師の負担が多すぎる。薬剤師の仕事なども全て看護師がしなくてはならないのはおかしいと思う。(20代)
- ・各部署人員不足なため希望に応じた休暇が取れていないことがわかった。サービス残業が多く、家に帰っても子供にストレスをあててしまう。(30代)
- ・看護師の養成施設を増やせば少しは解決されるのだろうか。(50代)
- ・現場の声を聞いてもらえる研修は良いと思った。(40代)
- ・自分の感じていることを口に出したので少し楽になりました。(20代)
- ・正直面倒だと思って参加しましたが、他の職場の方の話も聞けて良かったと思います。ありがとうございました。(30代)